

発行者/宮本 義彦 事務局/河竹 康之 〒399-0701 塩尻市広丘吉田3369 サウ/又広丘507 TEL & FAX 0263 (57) 0787
印刷所/双葉印刷 編集者/林 卓子 〒385-0051 佐久市中込3611-100 TEL & FAX 0267 (62) 8158
長野県山岳協会 HOMEPAGE URL <http://www.nmaj.org/> 定価 / 100円



ムスターグアタ (7,546m) 西面

写真:宮本義彦

ムスターグアタ 国際登山に参加して

会長 宮本 義彦

昨年の長野県山岳協会創立五〇周年記念式典で来長した。中国登山協会副会長の王勇峰さん(一九八〇年代日中合同登山技術研修会に学生時代から参加、二〇〇八年北京五輪チョモランマ聖火リレー隊長)より、来年六月のムスターグアタ国際登山に招待したいというお話がありました。

長山協理事会で協議し、個人的な招待ではなく長山協のメンバーとして招待してほしいことを要望し、受入れてもらいました。すぐに公募をし、四名の希望者の中から二名を決めてもらいました。そして宮本をリーダーに、松山信・越嶋彦君の三人パーティで参加しました。

松山・越嶋君は高所登山が初めてなので、直前に四川省の四姑娘山群で高所順応訓練後、七月九日北京に入り、十三日にベースキャンプ(BC)入りしました。

この企画の基盤は、チョモランマやチョーオユエで実施されている形と同じ、ガイド登山のために設けられたムスターグアタキャンプを利用するもので、BCには数十張のテント村ができていました。

王勇峰さんが招待をして結成した登山チームは、リーダーがチベット出身で中国登山協会の次落(ツェロウ)さん、フランス人のセルジ・コリエンさん、バキスタン人のレハマ・ウツラさん、それに松山・越嶋君の五人でした。日本以外の三人の登山

山のニュースは
信濃毎日新聞

信濃毎日新聞購読のお申込は ☎ 0120 - 81 - 4341 まで



中国登山協会スタッフと 左から越・宮本・王勇峰・次落・松山

一との関わりもあり、決して合理的だったとはいえないでし。しかし松山・越君はおおいにがんばり、七〇〇mまで達しました。アタック時は天候が悪く、スキーでも膝上までもぐるラッセルと強風と視界不良でした。C3で二日間天候回復を待ちましたが、あと半日の穏やかな天候が得られず、残念ながら登頂はな

りませんでした。また、C3からの下山は、重荷を背負ったスキー滑降となりましたが、深雪で視界がきかず、クレバスも埋まっていてわからないという悪条件の中、一日で無事BCまで戻りました。

今回、目標の登頂はなりませんでした。しかし、今回の経験は、松山・越君にとってたいへん有意義だったと思います。次落、コーエン、ウツラさんから二人への、登山技術、体力、スキーテクニック、高所順応、がんばり等の全面的な賛辞は、今後の大きな自信になることでしょう。

また、長山協と中国登山協会の交流に、新たな進展があるかもしれない。スキー登山の分野で、二人はお手本を見せてくれたと思います。毎年梅池で行われているアジア山岳スキー選手権大会の折、スキー登山の研修を検討してみたいものです。また、中国登山協会のスキー登山研修への派遣も考えられます。

今回の機会を与えていただいた王勇峰さん、中国登山協会の皆さんに、心から感謝申し上げます。

経歴は、すごいものでした。なお、このキャンプには王勇峰さんが顧問を務める、「極度体験クラブ」という野外活動を中心とする旅行社のツアーも一緒でした。お客さんが十一名で、ガイドとスタッフが十二名という大所帯です。

ムスターグアタ(七五四六m)は、長野県人の登頂者も多く、登山行動を詳細に報告する必要はないと思いますが、写真を見てもらうと分かるように、行動距離が長いのが特

徴です。キャンプもBCは四四〇〇m、第一キャンプ(C1)が五三〇〇m、C2が六二〇〇m、C3が六八〇〇mと標高差があるのも加味されます。基礎体力が必要な山です。

今回、松山・越君とコーエンさんはスキーを使いました。次落さんとウツラさんはスノーシューでした。私は同行していませんが、スキーとスノーシューの差は大きかったように

です。



B C 全 景



クレバスに注意して下山滑降

安全登山を目指して夏山登山教室 それぞれの持ち味を生かし四支部で実施

東北信支部

第二十五回東北信支部夏山登山教室 蓼科山登山教室に参加して

平成二十四年七月七日(土)～八日(日)

神奈川県川崎市 兼子 浩一

東北信支部の夏山登山教室に参加させて頂いた。私が登山を始めたのは昨年あたりからである。登山と言っても気の知れた同僚と日帰り近郊の低山を楽しむ程度。だが、徐々に私一人が山登りの楽し

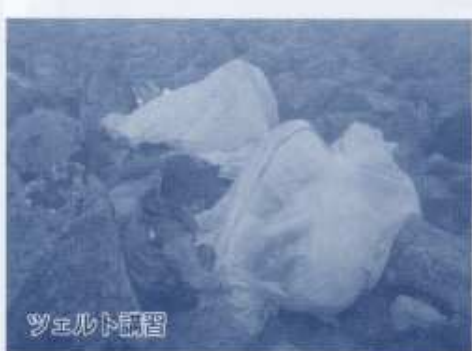
みにはまり、憧れていた長野県より、自身の「身の丈に合った」山々を見つけ出しては訪れていた。そんな経緯もあり、インターネットで次なる目的を探していたところ、偶然にも長野



中嶋 豊さん(前列左端)と

県山岳協会のホームページを閲覧。そのときの案内要項は「第二十五回夏山登山教室」であった。まさに「これだ！」と思い、さっそく応募。幸いにも参加出来る運びとなった。

そして、待ちどししかった当日。開催場所は「長野県望月少年自然の家」。緑深く、とても自然豊かな環境である。一日目の講演は「遭難発生状況および遭難防止対策について」実際に現場の第一線で活躍されている長野県警察山岳遭難救助隊岡田副隊長を講師に迎え、緊張感のある貴重なお話を伺う事が出来た。続いて「私の山歩きの楽しみ方について」の講演。信州山歩き地図作者の中嶋豊氏を招いての楽しくなるお話を伺う事が出来た。私が以前からお会いしたかった方でもある。夕食後の懇親会は、参加者全員が顔を揃え、ともに語り、楽しい夜を過ごした。



ツェルト練習

そして迎えた二日目。いよいよ蓼科山への実習登山である。あいにく天候は思わしくなかったが、この実習登山も楽しみにしていた事もあり、実施され一安心した。歩行途中や休憩時に講師の方から登山時の注意点、危険箇所の見極め方、また地図やコンパスの使い方などを学び、山頂に到着して休憩後、ツェルトの使用方法なども教えて頂いた。山頂では時折、雲の切れ間から遠くの風景を望む事も出来た。二日間に渡り開催された登山教室であったが、とてもためになり、また充実した二日間を過ごす事が出来た。今回、学んだ事を含め、これからの登山に活かして行きたいと思う。二日間という短い時間ではあったが、ともに過ごした参加者の皆さん、また長野県山岳協会関係者の方々にも厚くお礼を申し上げます。

諏訪支部では、例年一泊二日の夏山登山教室を続けており、今年も七月二十八日・二十九日に赤岳・権現岳のキレット縦走を行いました。一般の方、協会員、講師と合わせて一四名での山行で、お天気にも恵まれ、ちょっとハードながら全員歩き通すことができました。参加者の方から感想を頂きましたので、ご紹介します。(指導部 佐伯和人)



赤岳山頂にて

煌めいた！ 諏訪支部夏山登山教室

岡谷山稜 ムーンステファニー

今まで登山は日帰りのみの楽しみでしたが、ほかの登山者の話から、やはり泊まるのはすごく楽しいと聞いて、とても魅力が出てきました。ただ、体力は大丈夫かなどの疑問も持っていました。そこで、「やまなみ二〇五号」を読んだら、諏訪支部夏山登山教室が煌めきました。ということ、二日間に渡って、他の一三人の仲間と赤岳・権現岳に行ってきた。

良い思い出と習ったことは山ほどあります。短い間の登山で全てを学ぶことは無理ですが、基礎のことを意識するのが一番大事ではないかと思えます。例えば、必須装備品として細引きと言われましたが、思い浮かびませんでした。

そして、山小屋の初体験は、雰囲気は良くて、騙されなかったです。皆は仲間であり、わいわい夕食が出来ました！

山は？ 山はとても綺麗でした。特に夏の高山。頂上に着いた瞬間に、喜びと達成感はずべての疲れを消しました！

最後に、心を込めて参加者とスタッフの皆さんに感謝します。また、山の頂上で会えればいいですね！

赤岳～権現岳 キレット縦走



キレットコース

岩場通過



縦走路にて

伊那支部

平成二四年度 伊那支部夏山登山教室
現在地確認の大切さを学ぶ

飯田山岳会 近藤真由美

七月二九日、伊那支部夏山登山教室が行われ、一般参加者八名、伊那山の会三名、飯田山岳会七名の

七月二九日、伊那支部夏山登山教室が行われ、一般参加者八名、伊那山の会三名、飯田山岳会七名の

七月二九日、伊那支部夏山登山教室が行われ、一般参加者八名、伊那山の会三名、飯田山岳会七名の

総勢一八名が風越山麓公園に集った。自己紹介、荷物の確認、地図の説明後、二班に分かれ風越山山頂へ向けて出発した。二万五千分の一の地図で現在地を確認しながら登っていく。まもなく分岐点に出たので、「地図上の分岐まで来た」と思いきや大間違いく一方の道は、地図にはない作業道とのこと。私は、飯田山岳会に入りたての新人だが、等高線などで地形を読み取る大切さを痛感した。

さらに登り、白山神社奥社に続く石段を登っていく。昔からの参拝者が踏みしめた歴史を感じさせる石段だ。雲行きがあや



山頂への岩場では、三点支持を確認しながら登った。そして

五千分の一の地図を買って家路についた。

天気は心配をしなくてもよい石灯籠まで下り、長山協理事の佐野さんから、昨年の県内の事故例などについて話をうかがった。長野県山岳協会編集の事故事例集には、その時どう対処したかが書かれていて興味深く、家に帰って続きを一気に読んでしまった。

山麓公園に戻り、夏山登山教室を終えたのだが、事故を防ぐためにも、現在地確認の重要性を学び、また、一緒に登った人たちとの道々の会話の楽しい山行であった。さっそく自分の住む地域の二万

奥穂高・前穂高を全眺
できる湯けむり館

中の湯温泉旅館

平成10年安房峠中腹に移転。

夏は焼岳登山、冬は上高地の

スノートレッキングの基地として

満喫して下さい。

スノーシュー・XCスキーレンタル有



〒390-1516

長野県松本市安曇中の湯

TEL 0263-95-2407

FAX 0263-95-2514

中信支部 夏山登山教室

小中学生のクライミング教室



申込者多く
追加教室も

中信支部支部長
稲田 憲 治

七月二十九日(日)の午前九時から受け付けを開始し、閉講式まで予定通り開催された。
参加の申し込みは例年通り多数あり、人工岩場のルートと講師人数の関係上三四名で打ち切らせていただいた。あまりにも多くの申し込みがあったため、定員を超えて申し込みされた方を重点に、十月六

日(日)に追加教室を開催することとした。
当日は晴天に恵まれ、気温も上昇した。主幹の中信支部では十分に飲み物を準備し、熱中症対策と講習前の安全上の注意を行った。また参加者にもそれらを守っていただき、熱中症やけがもなく終了できた。

講師にとっては多少忙しかったが、参加者は休みながらの講習ができてちょうど良い人数であったと思う。午前中の講習では苦労しながら時間をかけて登っていた子が、午後になるとずいぶんと上達したように見えた。講師の教え方が良かったことと、保護者の方の下からの指示と応援も素晴らしかった。
参加者からは、大変楽しかったし、来年もぜひ参加したいとの声が聞かれた。

山とスキーの専門店 **ICT 石井スポーツ**

松本店25周年祭

9/14(FRY)~

長野店 移転オープン2周年記念セール

スキーオープンセール10月下旬~

スキー場リフト券・宿泊券の当たる抽選会
お買い得バックカントリースキーも!!

松本店

松本市中央2-3-17
TEL. 0263-36-3039

※ 松本駅より松本城に向かって徒歩8分

<営業時間>
10:00~20:00

P 契約駐車場有
¥2,000 以上で1時間サービス

アウトドア関連商品

EPICOR レギュラー カートリッジ

250G

¥373

250G

¥346

ガスカートリッジが 対応価格で定価より **26%OFF**

※ 48C

メンバーズカード 提示で **5%OFF**

※ 店舗実売価格から

長野店

長野市末広町1356 Nac末広2F
TEL. 026-229-7739

※ 長野駅 善光寺口 徒歩3分

<営業時間>
10:00~20:00

P 契約駐車場有
¥2,000 以上で1時間サービス

メンバーズカード 入会・年会費無

特典満載!

会員募集

500円物がいつでも **5%OFF**

※ 500円以上・一回限り適用

入会・年会費無

特典満載!

会員募集

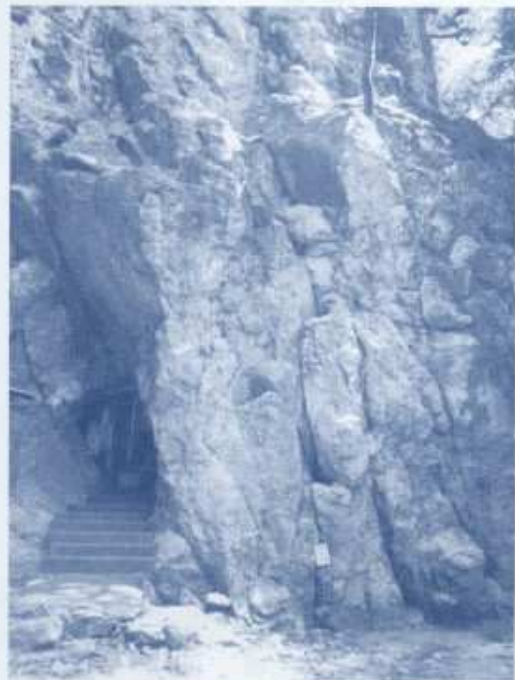
500円物がいつでも **5%OFF**

※ 500円以上・一回限り適用

支部だより 東北信支部

物見の岩 清掃

ホワイトパーチ長野 内川祥子



御堂のある岩

善光寺北側にある大峰山の麓に、川中島の戦いの折、上杉謙信が岩の上に立ち善光寺平を見下ろしたといわれる「謙信物見の岩」があります。岩の一部は先人が土の中から掘り出して岩登りのルートを作ったとも聞きます。

現在は、ロッククライミング・フリークライミングの練習や訓練に、地元だけでなく県外からも多くの人が訪れます。また、県警山岳救助隊の訓練場としても知られています。

東北信支部では、この物見の岩での練習時の安全と整備を兼ねて、雨で流された小石や枯れ葉、そして浮き石の整備等を支部全体で行ってきました。数年前からは、各会の予定もあり集合がなかなか

大変ということで、会ごとに清掃を行うことになりました。

所属するホワイトパーチ長野は、平日の早朝に朝練を行っています。清掃の日には朝練を早めに終わらせて、下段にある御堂の回りの草取りを行うことにしました。

御堂には「岩井堂観世音」が祀られ、御堂が入る岩そのものが練習岩であり、毎年御神酒を上げて山での安全祈願をし、個人でもお願いごとをする観音様の周り、ちょうど草の伸びる時期でもあるので、登攀用具の入ったザックと共に鎌と軍手を手に物見の岩へ向かう姿が恒例となりました。

アルパインツアーなら、きっと愉快的な山仲間に出会えます



ツアーカタログをご請求ください

「世界の山旅・辺境の旅」各種カタログご希望の方は、下記、ホームページ、メールまたは問合せ先までご請求ください。無料でお送りします。

アルパインツアー

検索

www.alpine-tour.com

✉ info@alpine-tour.com

旅行企画 変流

観光庁長官登録旅行業490号(第1種)

(社)日本旅行業協会正会員 旅行業公正取引協議会会員 邦定保証会員

アルパインツアーサービス株式会社

●お問い合わせ・お申し込み

東京 / 〒105-0003 東京都港区西新橋 2-8-11 (第7東洋海ビル4階) ☎03 (3503) 1911

大阪 / 〒550-0003 大阪市西区京町堀 1-4-3 (TCF肥後橋ビル2階) ☎06 (6444) 3033

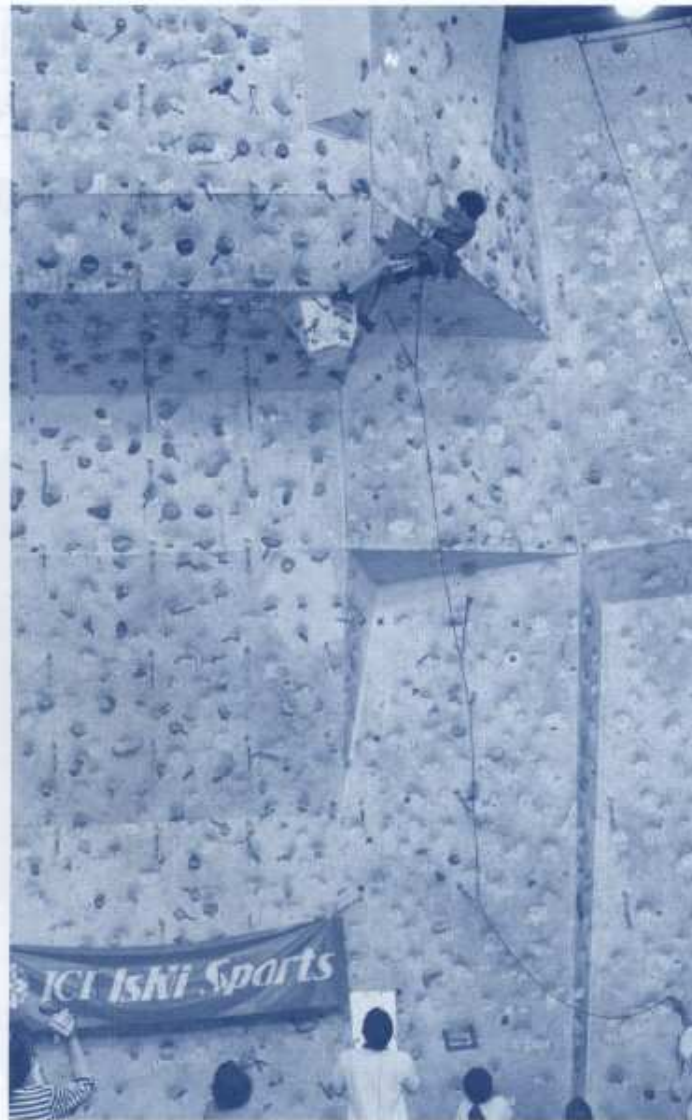
名古屋 / 〒450-0002 名古屋市中村区名駅 3-23-6 (第2千禧ビル8階) ☎052 (581) 3211

福岡 / 〒810-0073 福岡市中央区御橋 1-2-8 (セントラルビル5階) ☎092 (715) 1557

総合旅行業務取扱管理者 芹澤 一 (東京)・大島 義成 (大阪)・深井 真浩 (名古屋)・渡部 秀樹 (福岡)

第一回ジュニアクライミング大会 開催される

佐久平ロッククライミングセンター 浅井和英



去る六月十七日(日)、長野県山岳協会主催にて参加者全員が小学生という県内初のクライミング大会が佐久平ロッククライミングセンターで行われた。ルートセッターである僕の予想に大きく反して力戦奮闘を展開した参加者達は、多くのルートを完登した。

小さな体から繰り広げられるムーブは生命力に溢れ、見ているだけで心が震えた。特に自分の教え子が頑張っている姿を見ると、応援の声にも自然と力が入った。

大会の日以来感慨無量の日々に変わり、僕はかつてない充実に浸っている。この機会を与えてくれた会長、森山さん、多くの支えとなってくれた長野県山岳協会の皆さん、それから心の支えとなってくれたたくさんの仲間感謝します。

【結果】

★リード競技

- 1位 江口龍之介(小六)
- 2位 尾崎林太郎(小六)
- 3位 野本拓見(小四)

★トップロープB(中級)

- 1位 阿達 桃(小五)
- 2位 岡本伶大(小六)
- 3位 上田龍生(小三)

★トップロープA(初級)

- 1位 小林祥司(小三)
- 2位 恩田莉希(小四)
- 3位 高寺倅平(小四)



リード競技
表彰の三人

フリークライミング、アルパインの練習はもちろん
登山、沢登り、レジャー、基礎体力向上にも！
初心者歓迎！老若男女、誰でも楽しめます！

平日 13:00-22:00
土 10:00-22:00
日祝 10:00-20:00

CLIMBING CENTER
ARTWALL

長野市真島町川合189-1
TEL 026-284-8136
URL <http://artwall.ne.nu>

そのほかにも、クライミング施設的设计・施工
ホールド販売 etc. お気軽にご相談ください！

委員会だより
国体委員会

第三三三回北信越国体を 終えて

国体委員長 浮 須 由 実

今年から子供クライミング大会が始まり、県国体予選は例年より一週間遅い六月二十四日に小谷村にて実施された。

その結果、本年度長野県代表選手は成男中嶋徹・笠原大輔・成女早石利枝・田中栄子。少男小林大祐・京屋仁。少女西澤のか・稲垣夢樹の各選手に決定。成女片山加奈子、少男中嶋岳志、少女橋詰正興各監督の下、七月二一・二二日、福井県立クライミングセンターを舞台に北信越大会に臨んだ。

競技当日、福井県は記録的な集中豪雨に見舞われ、交通関係が心配されたが、大きなトラブルはなく、この日はボルダリング競技ということで競技への影響もなかった。さて、ボルダリング。成女は新潟県同様、完登数が二であったが、アテンプロト数差で惜しくも二位となった。一方、少男は四完登と、二位の新潟県の二完登を大きく引き離れた。リード競技では成女、少男共

に、一位の新潟県とは実力の差が出た。しかし、本県はこれまでボルダリング中心の練習を続けており、今後は本国体に向けて岩場などでリード強化に取り組んでいくことになる。

国体はチーム競技なので、やはり実力のある選手を二人そろえたチームは強く、成女は早石選手のボルダリング二完登、田中選手のリード粘着が四年連続本大会出場の原動力となった。また、少男は二年連続本大会出場の小林選手がリーダーとなり、県予選以後、一ヶ月の間に急速に伸びた京屋選手とのコンビには安定感があった。少女は上田西高校の二年生コンビ。監督の指導の元、力をつけてきたが、新潟県は昨年山口国体の決勝進出チーム、福井県には全日本級の選手があり、実力差は否めなかった。しかし元気で頑張ったのクライミングで、観客から盛んな応援をもらっていた。

国体山岳競技選手団への 支援のお願い

長野県山岳協会会長 宮本義彦
九月二十九日(土)から四日間、岐阜県で第六七回国民体育大会山岳競技会が開催され、左記選手団が参加いたします。

監督・選手

《成年男子》

監督＝橋詰正興

選手＝笠原大輔・中嶋徹

《少年男子》

監督＝中嶋岳志

選手＝小林大祐・京屋仁

《成年女子》

監督＝片山加奈子

選手＝田中栄子・早石利枝

役員 総括＝浮須由実

コーチ＝森山謙雄

トレーナー＝大口和哉

選手強化、本大会準備に多大な努力と費用がかかっております。県体育協会のご支援と同時に行える限りを尽くしてまいりましたが、未だ資金難の状態です。例年同様国体へのカンパを皆様にお願ひし、選手団の奮闘を期待しております。

よろしくお願ひ申し上げます。

☆金額、方法

①口数 一口三千円一口以上

加担団体 一口二千円一口以上

個人 一口千円一口以上

の振込先 八十二銀行池田支店

口座番号 普通267163

名義人 長野県山岳協会国体

委員会代表 浮須由実

協会役員に直接お渡しいただいても結構です。

☆問い合わせは長山協事務局へ



カモシカスポーツ 山の店・松本店

秋冬ものの続々入荷中!

「カモシカ自然教室」 開催中!

年間を通して、様々な教室を開催しています。
詳しくはホームページで!

9/24-25 (月-火) は、休業いたします。

長野県松本市和田1478-1
(電話) 0263-48-2424
(ファックス) 0263-48-2420
matsumoto@kamoshika.co.jp
http://www.kamoshika.co.jp

営業時間/10:30~20:00 (土日祝 10:30~19:00)





総体 (苗場山・平標山・三国峠)

長野県高校総合体育大会 第41回登山競技会

五月三十一日(木)～六月二日(土)までの三日間、県高校総体登山競技会が南八ヶ岳(編笠山・西岳)で開催されました。

参加人数はオプザーバーも含めて一四七名(男子一九校二二六名、女子五校二一名)と昨年度より一五名余り増え、運営側としては嬉しいと思いました。一位から三位までの結果は次のとおり。優勝校がインターハイ出場権を、二位・三位校が北信越大会出場権を獲得しました。

- | | | | |
|----|------|---------|-------|
| 男子 | 優勝 | 松本県ヶ丘高校 | |
| 二位 | 大町高校 | 三位 | 屋代高校 |
| 女子 | 優勝 | 松本県ヶ丘高校 | |
| 二位 | 屋代高校 | 三位 | 長野西高校 |



はち切れそうな笑顔の松本県ヶ丘高校女子

登山大会報告 (県大会・北信越大会・インターハイ)

委員会たより
高体連登山部

高体連 酒井 知之

第24回北信越高等学校 登山大会

六月一五日(金)～一七日(日)に、石川県の白山釈迦岳で開催されました。今年の白山は積雪が多く、安全面への配慮から、当初予定の二泊二日での御前峰登頂から、白山釈迦岳日帰り往復に変更しての実施となりました。

大会当日は雨とブヨの大群に悩まされましたが、白山は初めてという県代表三校(大町高校男子、屋代高校男女、長野西高校女子)の山岳部の面々は皆、元気に白山釈迦岳に登頂しました。

標高2,000mの雲上の一軒宿

通年営業

平成24年度 全国高等学校 総合体育大会登山大会

今年度のインターハイは、八月七日(火)～一日(日)に、新潟県の湯沢町で開催され、本県からは松本県ヶ丘高校が男女とも県代表として出場しました。

大会中は七日に湯沢カルチャーセンターで開会式と救急や気象等の知識審査が、八日(一〇)日には苗場プリンスホテルの特設露营地をベースとして、苗場山、平標山、三国峠で体力や歩行技術等の審査が行われました。

僅差の中に多くのチームがひしめく厳しい戦いでしたが、県勢は男子が八位、女子が一六位と健闘しました。

期間中は天候にも恵まれ、県外選手たちとの交流も深まった有意義な大会でした。

- 春 新緑とレンゲつつじのお花畑、
- 夏 百花乱舞の高山植物のお花畑、
- 秋 マツムシ草の大群落と紅葉、
- 冬 霧氷の白銀スノートレッキング、
(スノーシュー・XCスキーレンタル有ります)

美ヶ原高原ホテル山本小屋

〒386-0701 長野県小県郡長和町美ヶ原5101-1
TEL 0268-86-2011 FAX 0268-86-2013
URL <http://www.utsukushigahara.com>



ロッククライミングの発祥について 西駒ヶ岳(中央アルプス)の歴史をひもとく

伊那山の会 唐 木 勉

西駒ヶ岳で岩登りの対象となる場所は少ない。宝剣岳を中心とした中央稜、中央ルンゼ、左フランケ、第二尾根、第三尾根、極楽尾根と天狗岩を中心とした学芸大ルート、駒峰ルート、更に和合山などが、昭和三十年代から昭和五十年代当初にかけて良く登られていた記録があるが、最近では諸般の情勢からこの周辺での岩登り行為は全面的に禁止となつている為にロッククライミングはまったく行われていない。

天明四年(一七八四年)七月二三日から二五日にかけて高遠藩郡代阪本天山(孫八)は藩命を受けて、三回目的藩内領域検分のため総勢八六八人余で西駒ヶ岳に登山している。其のルートは二八年前に父阪本運四郎英臣が登ったコースを辿っている。高遠を出立して宮田村白心寺の脇道を通り、ひげすり岩、太田切川、中御所谷を遡って道士澤(滝)?、

明王澤(滝)?を越え、やがて大瀑(日暮しの滝)に達する。阪本天山は其の周辺の描写や登攀の様子を次のように極めて詳細に記述しているので紹介する。

「狭間は忽ち青山千尺飛流が雲の間に落ちるのをみるいわゆる大瀑である。これは先人が絵画にかいた所だ。景色をめぐる心が続く。急にみようとすれどもわけわしくてにわかに入ることができない。望めば近くなり、行けば遠くなる。はがゆく思いながら歩く。暫くして其所に至った。絶壁の深さは限りない。中に石山が高く突き出ているのがある。水分はその陰に流し、わき出る水玉は日に映える。虹の影を作り、飛流が百道のように、白い練絹が空中にかかるようだ。大瀑の側によると、削った面が屏のよう

ある。高さ百俵の所がある。これを登ると削りどった所に僅か人を収容する所がある。ついできた者は、皆猿がつかむようにして登る。左右代わるがわるのぼり、時々「つべ縄により、一手は危ない岩をたすけとする。先ず一足をうがった中に置き、更に一足をおく」。まわりを視ることも、下を見ることもできない」と書いてある。

文中の「」括弧の部分を良くよく考察すると、正に三点確保の要領通りの基本姿勢が書かれている。
今(二〇一二年)から二二

た面が屏のよう



槍・穂高に乾杯



日本百名山 常念小屋 Mt. Jōnen 2,857m
JAPAN ALPS

松本事務所/松本市沢村1-11-18 電話0263-33-9458
山のしおり運呈(送料不要) 山小屋直通 電話090-1430-3328

八年も前、高遠藩砲術師で漢学者でもあった阪本天山一行は中央アルプス中御所谷大瀑(日暮しの滝)側壁を三点確保によって無事登りつめて本づるねに到達している。

やがて真人峰(前岳)の頂上に立った天山は其の時の感銘を詠み、青黒い自然石に石工数人にすぐさま刻ませた。これが今も長い間過酷な風雪に耐えて残っている名高き勅銘石である。

従来我が国に於けるロッククライミングの発祥は明治三五年(一九〇二年)にWウエ

ストン卿が南アルプス地蔵岳の中段からロープの先に石を結び付け何回となく放り上げて岩溝(クラック)にからませて其のロープを頼りにオベリスクの登攀に成功したのが最初と言われていた。しかし、それに先んずること一八八年我が国の信州高遠藩郡代(御役人)一行が既にロッククライミングを実践されていた歴史的事実は実に偉大な事であり、驚愕のほかない。正にこの事実こそが我が国ロッククライミングの発祥と言うべきであらう。

絵・写真・俳句・短歌・
ご意見お待ちしています

(編集室)

明日登山
リュックの中に
元気詰め
軽井沢町
高橋達幸さん



「朝露輝くクロユリ」
雲の平にて

東京都 山下 満さん

読者のたね
やまなみ



E-mail : takuko@ae.auone-net.jp

— 中部山岳国立公園 — 北アルプス

爺ヶ岳 (2668m) & 鹿島槍ヶ岳 (2889m)

2004年夏 冷池山荘全面リニューアルオープン!



新越山荘 — 種池山荘 — 冷池山荘

連絡先 大町市平借馬5328 柏原 正 泰
TEL 0261-22-1263

登山・クライミング・キャンプ
カヌー・テレマーク・山スキー



山とスキー専門店 **ブンリン**

松本市中央2丁目7の14

TEL & FAX 0263-33-3633

営業時間 10:00~19:30 (日曜祝日 10:00~18:30)

定休日: 水曜日



<http://www.nishiitoya.com/>

E-mail info@nishiitoya.com



〒390-1516 長野県松本市上高地
TEL 0263-95-2206
FAX 0263-95-2208

冬期事務所 (11月中旬~4月中旬)

〒390-0303 長野県松本市浅間温泉3-26-10
TEL & FAX 0263-46-1358

2012年度 長野県山岳協会 下期計画

日	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1	土	月	木	土	火	金	金
2	日	火	金	日	水	土	土
3	月	水	土	月	木	日	日
4	火	木	日	火	金	月	月
5	水	金	月	水	土	火	火
6	木	土	火	木	日	水	水
7	金	日	水	金	月	木	木
8	土	月	木	土	火	金	金
9	日	火	金	日	水	土	土
10	月	水	土	月	木	日	日
11	火	木	日	火	金	月	月
12	水	金	月	水	土	火	火
13	木	土	火	木	日	水	水
14	金	日	水	金	月	木	木
15	土	月	木	土	火	金	金
16	日	火	金	日	水	土	土
17	月	水	土	月	木	日	日
18	火	木	日	火	金	月	月
19	水	金	月	水	土	火	火
20	木	土	火	木	日	水	水
21	金	日	水	金	月	木	木
22	土	月	木	土	火	金	金
23	日	火	金	日	水	土	土
24	月	水	土	月	木	日	日
25	火	木	日	火	金	月	月
26	水	金	月	水	土	火	火
27	木	土	火	木	日	水	水
28	金	日	水	金	月	木	木
29	土	月	木	土	火		金
30	日	火	金	日	水		土
31		水		月	木		日
備 考			北信越 5 県連絡協議会				

1	土	月	国民体育大会(岐阜県)	木	土	火	金	金
2	日	火	国民体育大会(岐阜県)	金	日	水	土	土
3	月	水		土	月	木	日	日
4	火	木	伊那支部幹事会③	日	火	金	月	月
5	水	金	高体連北信新人戦	月	水	土	火	火
6	木	土	高体連北信新人戦 中信支部小中学生の クライミング教室	火	木	日	水	水
7	金	日	ジュニア登山教室②	水	金	月	木	木
8	土	月		木	土	火	金	金
9	日	火	諏訪 climbing 交流会	金	日	水	土	土
10	月	水	やまなみ206号発行	土	月	木	日	日
11	火	木		日	火	金	月	月
12	水	金		月	水	土	火	火
13	木	土	高体連中信新人戦	火	木	日	水	水
14	金	日	高体連中信新人戦 高体連東信新人戦	水	金	月	木	木
15	土	月	高体連東信新人戦	木	土	火	金	金
16	日	火	第5回理事会	金	日	水	土	土
17	月	水	中信支部交流会	土	月	木	日	日
18	火	木		日	火	金	月	月
19	水	金	中信支部幹事会④	月	水	土	火	火
20	木	土		火	木	日	水	水
21	金	日		水	金	月	木	木
22	土	月		木	土	火	金	金
23	日	火		金	日	水	土	土
24	月	水		土	月	木	日	日
25	火	木	東北信支部幹事会③	日	火	金	月	月
26	水	金		月	水	土	火	火
27	木	土		火	木	日	水	水
28	金	日	高体連南信新人戦 ~29日	水	金	月	木	木
29	土	月	国民体育大会(岐阜県) 長山登山キャンプ	木	土	火		金
30	日	火	国民体育大会(岐阜県) 長山登山キャンプ	金	日	水		土
31		水			月	木		日

協会業務短信

- 【6月】** ☆5日 4 役会議 (東京都大塩尻高校)
 ☆9日 東北信支部物見の岩清掃
 ☆10日 やまなみ205号発行
 ☆15日~17日 高体連北信越大会
 (石川県白山・釈迦岳 男子:大町・屋代高校 女子:屋代・長野西高校)
 ☆17日 子どもクライミング大会
 (佐久平ロッククライミングセンター:31名参加)
 ☆19日 第3回理事会
 (東京都大学塩尻高校)
 ☆19日 伊那支部幹事会
 ☆20日 中信支部幹事会
 ☆21日 東北信支部幹事会
 ☆24日 長野県クライミング大会兼国体予選 (小谷村・ちゃんめろウォール)
- 【7月】** ☆7日~8日 東北信支部夏山登山教室
 (北八ヶ岳・蓼科:8名参加)
 ☆9日 指導委員会第3回常任委員会 /ジュニア委員会と共催
 ☆12日 諏訪支部幹事会
 ☆16日~17日 北信越国体 (福井県 大西・浮須・中嶋岳・河竹)
 ☆21日 ジュニア登山教室①
 (北俣本谷・雨天中止)
 ☆25日 中信支部幹事会
 ☆28日~29日 諏訪支部夏山登山教室
 (八ヶ岳縦走:9名参加)
 ☆29日 伊那支部夏山登山教室
 (飯田市・風越山:8名参加)
 ☆29日 中信支部夏山登山教室
 (大町人工壁:32名参加)
- 【8月】** ☆7日~11日 高体連全国大会

(新潟県苗場山・平標山 男子:松本県ヶ丘高校8位 女子:松本県ヶ丘高校16位)

- ☆21日 第4回理事会
【9月】 ☆4日 伊那支部幹事会
 ☆6日 諏訪支部幹事会
 ☆8日~9日 日山協自然保護委員総会 (北海道)
 ☆9日 諏訪クライミング交流会
 ☆10日 やまなみ206号発行

今後の予定

- 【9月】** ☆13日~14日 高体連中信新人戦
 ☆14日~15日 高体連東信新人戦
 ☆19日 中信支部幹事会④
 ☆28日~29日 高体連南信新人戦
 ☆29日 伊那支部交流会
 ☆29日~30日 長山協キャンプ (小川山)
- 【10月】** ☆2日~4日 国民体育大会 (岐阜県)
 ☆5日~6日 高体連北信新人戦
 ☆6日 小中学生のクライミング教室 (ジュニア登山教室①を兼ねる)
 ☆7日 ジュニア登山教室②
 ☆14日 八ヶ岳清掃登山
 ☆16日 第5回理事会
 ☆17日 中信支部交流会
 ☆25日 東北信支部幹事会③
 ☆27日~29日 全日本登山大会 (福井県)
- 【11月】** ☆3日~4日 長山協ミーティング (虫倉山・やきもち屋)
 ☆17日~18日 山の文化講演会 (山岳総合センター)
 ☆20日 伊那支部幹事会④
- 【12月】** ☆10日 やまなみ207号発行



槍とともに90年

山と山は相隣りて美し
 山と山は相連りて美し

双葉印刷(有)

〒390-0007 松本市城東二一ニ一六
 TEL (0263) 3321263
 FAX (0263) 3361718

槍ヶ岳肩 **槍ヶ岳山荘** 南 岳 **南岳小屋**
 直通 090-2641-1911 直通 090-4524-9448

槍 沢 **槍沢ロッジ** アルプス銀座 **大天井ヒュッテ**
 直通 0263-95-2626 直通 090-1401-7884

お問合せは…☎390-0813 松本市理橋1丁目7の2 槍ヶ岳山荘事務所 TEL (0263)35-7200・FAX 35-0637

お誘い広場

第26回 長野県山岳協会キャンプ in 小川山

長野県山岳協会指導委員会・遭難対策委員会
(日本山岳協会山岳共済会共催事業)

長野県山岳協会指導委員会では、遭難対策委員会と共に、第26回「長山協キャンプ in 小川山」を開催いたします。同じ趣味をもつ協会員同士が一堂に集まり、情報の交換や技術のアップに繋がる場所として活用していただきたいと思っております。どなたでも参加できますので、多数の方の参加をお待ちしています。詳細は下記のとおりです。

日時 9月29日(土)～30日(日) 受付 29日(土) 15時～17時(15時まで各自または各会でクライミング)
解散 30日(日) 13時(その後、各会でクライミング等)

場所 川上村廻り目平周辺(小川山) 林道下の広場 炊事場付近

泊 各会・各グループ毎にテント・山荘・バンガローなどで対応してください。

食 各会、各グループ毎に用意してください。

懇親会 29日(土)午後6時頃より、下の広場付近にて焚き火と豚汁を囲み行います。

酒などの嗜好品は各自持参してください。差し入れ大歓迎!!

参加費 500円(指導員は無料)

持ち物 登攀具を含む夏山一泊装備一式

お願い 駐車場へ入るにはゲートで駐車券を取ってから入場してください。

帰りは金峰山荘でテント代等の精算をして駐車券にパンチを入れてから退場してください。

「小川山登山」も計画しています。希望者はぜひ参加してください。

講習会 講習会参加者は、山岳保険の加入をお願いします。

指導員更新時講習として、トラブル発生時のロープワークを中心に研修会を開催します。

・集合場所 廻り目平キャンプ場集合後フェニックスの大岩周辺へ移動

・集合時間 30日(日) 廻り目平キャンプ場 午前7時

・研修場所 フェニックスの岩場(廻り目平キャンプ場から徒歩約40分)

* 参加される方は、各山岳会に送付してある別紙申込書に記入して、9月24日(木)までにFAXにて送付ください。

* 本講習会は、指導員の更新時講習の対象になっています。また、来年度指導員検定を受検希望の方・今年度指導員検定に合格された方は、是非参加をお願いいたします。

長山協キャンプに関する問合せ先 指導委員会総務 栗原 久
Tel&Fax 0261-22-5260

山の文化 in Nagano (地方講演会「山の文化」開催概要)

主催の三者が、それぞれ得意とする分野の演題を持ち寄り発表し、世界的な視点と地域的な視点を組み合わせることにより、山岳文化の掘り起こしと視野の拡大に寄与し、登山の素晴らしさを地域社会に向け発信することを目的に開催されます。

主催 長野県山岳協会 日本山岳文化学会
日本ヒマラヤ協会

後援 財団法人山岳協会 日本勤労者山岳連盟
長野県教育委員会 大町市教育委員会
信濃毎日新聞社

日時 2012年11月17日(土)13時～18日(日)14時

会場 長野県山岳総合センター(大町市)

日程

17日 13:00～ 受付 開会行事

講演①「アーネスト・サトウと武田久吉」

日本山岳文化学会会員 金子靖夫氏

講演②「山岳博物館60年史と収蔵実態」

(仮題)

市立大町山岳博物館館長 宮野典夫氏

入浴・夕食懇親会(木崎湖温泉)

18日 講演③「クマの生態と登山者」(仮題)
信州大学農学部教授 泉山茂之氏

講演④「北アルプス山小屋の100年史」
(仮題)

山岳ジャーナリスト 菊地俊朗氏
昼食

講演⑤「日本ヒマラヤ登山通史」

日本ヒマラヤ協会会長 山森欣一氏
閉会行事 解散

参加費 10,000円 受講料、宿泊、天然温泉入浴、懇親会含む3食費用
参加予約金を申し受けます。

参加定員 45名

申込締切 10月31日 但し定員に達した場合はその時点で募集を終了します。

申込先

長野県山岳総合センター

(メールおよびFAXによる)

〒398-0002 長野県大町市大町9056-1

TEL:0261-22-2773 FAX:0261-22-5444

E-mail: info@sangakusogocenter.com

長野県山岳協会・長野県山岳総合センター共催

とざんきょうしつ たかせけいこく
「ジュニア登山教室」in高瀬渓谷

「ジュニア登山教室」は小学生のための山遊び教室。山や川といった自然の中でしかできないワクワクするような山遊びが体験できます。遊園地や公園とは違うから、もちろん危険もあります。でも危険なことが何かわかっていれば、おもいっきり楽しい体験ができます。

長野県山岳協会の山遊びの達人たちがみんなに遊び方と楽しさを伝授します。
さあ、君も「ジュニア登山教室」に参加しよう。

いつ? **10月7日(日) 7:30 大町山岳博物館駐車場 集合**

17:00 集合場所で解散

温泉を掘って、
足湯体験!

内容? **7:30 出発……(車移動)……高瀬ダム到着**
高瀬ダム出発～(約3時間)～湯俣(昼食)

温泉たまごをつくって
みよう!

17:00 解散(行きと同じルートで戻ります)
*片道約7キロメートルの道のりです

- 参加できるのは? **小学校3年生～6年生 20名 (保護者の方は送迎のみとなります)**
- 費用は? **1,500円 (保険代、交通費等)**
- 持ち物は? **リュック 水筒 昼食 雨具 防寒着 タオル 軍手 帽子 ぞうり (たまご) 他**
*参加者には詳しい持ち物と服装等について連絡します

詳しいことは
どこにきくの? **<長野県山岳総合センター> 〒398-0002 大町市大町8056-1**
TEL 0261-22-2773 FAX 0261-22-5444
E-mail: info@sangakusogocenter.com
HP: http://www.sangakusogocenter.com/

いつまでに連絡すればいいの? **9月24日(月曜日) *定員になり次第、締め切り**

つり橋を渡ったよ
ぐらぐらゆれたのが変
しかった

足湯は少し熱かったよ
でも気持ちよかったな



温泉たまご、おいしかったよ
遠くに権ヶ岳も見えてうれ
しかった



昨年の登山教室の様子から

ネパール通信



生活基盤の整備が難しい ネパール飲料水

コスモトレック
大津昭宣

今、ネパールの首都カトマンズはいろいろな意味で苦境に陥っている。政治は議会が解散されたままで選挙のスケジュールも立っておらず政党間での主導権争いが続いており、国民も政治にあまり関心を示していないように見える。

しかし、現実の問題は政治そのものではなく、生活基盤の整備が遅れていることにある。

水道は乾季には全く給水がされない地域も多く、通常二日に二時間程度の給水やタンカーで購入した水を地下や地上にあるタンクに貯め、モーターで屋上にある別のタンクに汲み上げるシステムになっている。しかしこれは家を持っていないかなり裕福な家庭やホテルなどの事業所であり、多くの場合、市内各所にある共同水道に遠くまで女性や子供達が水汲みに通っているのが現状である。それも、水が来ればの話である。

カトマンズ盆地内には八か所の浄水場があり、湧水、河川水、深井戸などを源としているが、取水できる量が限られていることと、もともとこの八か所の浄水場は人口百万人程度を上限として設計されており、ここ十年の爆発的人口増加(現在は約二五〇万人と推

定される)に対応はできない。

政府は現状を理解しているが取水源の確保、導水、浄水場の建設、配水管の敷設には膨大な資金を要するため、日本政府を先頭とする各国やアジア開発銀行、世界銀行などの国際金融機関の援助で水源を盆地外のメラムチ川に求め、二六kmの導水トンネルを盆地まで掘って水源の確保を計画しているところであるが、老朽化した浄水場や貯水場の新設、改修、配水システムの改善などやるべきことは多く、時間はかかりそうである。

ちなみにカトマンズ盆地内の四か所の浄水場は日本政府の無償資金援助で新設、改修された。



飲料水をタンカーで購入

ネパールにお住まいのコスモトレック大津様より、その時々のお話を送って頂き連載します。ご愛読ください。

世界中の山々でご活躍の長野県のみなさまへ 神々の国ネパールはいかがですか

ごあいさつ

弊社は創立以来、登山隊、調査隊、撮影隊などへのサポートやトレッキング、各種観光旅行の手配に、多くの方々のご支持をいただけてきました。今後ともお客様にご満足頂けますよう努めて参りますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。遠征隊、登山隊につきましては大津二三子と奥田仁一が担当させて頂きます。日本語でお気軽にお問い合わせください。

登山隊取扱い実績

- ・メジャーエクスペディション (ネパール政府許可峰と中国への登山隊) 297隊 (2011年末現在)
- ・ライトエクスペディション (ネパール山岳協会許可峰) 354隊 (2011年末現在)

コスモトレック&トラベル株式会社

PO. BOX 2541 Lazimpat Kathmandu, NEPAL Tel: +977-1-4416226, 4411437 Fax: +977-1-4415275
E-mail: fumi@mos.com.np (日本語) cosmo@mos.com.np (英語) http://www.cosmotrektravel.com

山の高 この山の オシイ

長野山岳会 申島 智章

朝焼けに染まる飯綱山～黒姫山

岩から南西方向、夜間瀬川を渡る高社大橋の方向に真っすぐ伸びる尾根(をダイレクト尾根と名付けて、一泊二日の登攀を計画しました。

一日目、中野市内のコンビニから双眼鏡を覗くと、目指す尾根が早朝の光を受けて真っ白に輝いています。どうやら雪は十分ついている様子……思わず

安曇野生生まれの私にとって、高社山との出会いは就職した後でした。配属になった長野市内の初任地の所長さんが山好きな方で、職場の二階から見える里山や北信五岳の事など、地域の山についていろいろと教えていただきました。

たしかその頃、職場で中野市か小布施町の話題で盛り上がった時に、高社山の別称の高井富士(たかいこうふじ)と高井鴻山(たかいこうざん…小布施ゆかりの文化人です)をひっかけた洒落が分ならず、後で周りにこっそり教えてい

ただいたのを覚えています。……それはともかく、その後、長野山岳会に入会し、初めて高社山に登ったのは秋、谷蔵寺からのコースでした。気持ちのいい青空に紅葉が映え、下山してから屏風岩や大黒岩を仰ぎ見たのを覚えています。

その後も高社山には何度か登りましたが、今回は二〇一〇年二月に登頂したコースを紹介したいと思います。

高社山は一三五・五mという標高にも関わらず、独立峰であることから、遠くから見てもその美しい山容が目立つ山です。この山の稜線から、南面に何本かの尾根が張り出している、その中で一番目立つ尾根(ちょうど屏風岩から南西方向、夜間瀬川を渡る高社大橋の方向に真っすぐ伸びる尾根)をダイレクト尾根と名付けて、一泊二日の登攀を計画しました。



「今年には行けるぞ！」と期待が高まります。この日は、ふもととの林道の途中からつつじ山展望台まで荷物を運んでベリースキャンプを設営し、偵察を兼ねて行けるところまでトレースを着けて戻ります。つつじ山山頂に昼過ぎに到着。目印の木製の鳥居がくぐれないほどの積雪です。

この後、比較的平坦な尾根をラッセルしながら進むと、徐々に傾斜がキツくなってきました。この日は一四時三〇分頃に下山開始しました。

翌朝、ガチガチに凍っていた靴紐を無理やり締め、ベリースキャンプを七時に出発。昨夜の雪は舞う程度だったらしく、昨日のトレースを見失うことなく進みます。登攀メン

たたいま登攀中！ 振り返ると中野市から遠く長野市まで見渡せます。

取りながら登ります。つややかな雪の肌をピッケルを刺す音と振動が、リズムよく体に伝わってきます。一歩登るごとに、視界に入る景色の高度感が増し、稜線に出ると一気に北側の視界が開けます。モフモフとした雪に腰まで埋もれながら、達成感で笑顔がこぼれ、下から登ってくる仲間

バーは四名。二日目は、我々の他に別働隊(スキー部隊)三名が東側に張り出した尾根(よませスキー場の西側、山内町と飯山市の境に沿った尾根)を登ってきます。山頂で合流後、全員で別働隊の付けたトレースを下る計画です。

昨日の最高到達点を越えてしばらく登った地点から、いよいよ登攀開始!! 五〇mのザイルで四ピッチほどですが、本格的な登攀。スリングやカラビナの操作を一つひとつ確認し、ポツポツと雪面から顔を出した灌木に支点を

高社山には、今回紹介したルートの隣にも、いずれまた開拓したい別の尾根が張り出しています。四季を通じて、軽登山から本格的な登攀まで幅広く楽しめるオスメの山です。

に声を掛けます……!!

あとは、別働隊の待つ山頂まで稜線を進むだけ。稜線上の雪は思った以上にバリバリとクラスト状で沈まず、思いのほか簡単に進むことができます。

一二時四五分、ついに登頂!! 歓迎してくれた別働隊と一緒に記念撮影です。

雪の状況に恵まれずに断念した年もありましたが、幾度か偵察を重ね、伊澤会長の構想がようやく数年越しに実現した山行であり、私にとっても記念すべき誕生日になりました。

別働隊から無線で雪庇の状況聞きながら、山頂に向けて稜線を進む。

